

# ゲンティン・マレーシア(GENM)

## マレーシアの電気料金引上げと売上サービス課税対象拡大の影響懸念。通貨高で米ドル建て借入の為替利益

### マレーシア | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK | REUTERS GENM.KL

- 2025/12期 2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比 10.3%増、調整後 EBITDA が同 33.6%増。マレーシアと英国・エジプトが堅調に推移した。
- マレーシア通貨高により米ドル建ての借り入れに関する為替換算差益を計上したこともあり、税引き前利益が前年同期比 2.5 倍に拡大した。
- マレーシアの電気料金引上げと売上サービス税課税対象拡大の消費への影響が懸念材料も、英国のストラトフォード・カジノ買収効果に期待。

#### What is the news?

8/28 発表の 2025/12 期 2Q(4-6 月)は、売上高が前年同期比 10.3%増の 17.81 億 MYR、減損損失や事業売却益など一時的要因の影響を除いた調整後 EBITDA が同 33.6%増の 10.29 億 MYR、税引き前利益が同 2.5 倍の 5.03 億 MYR。主力のレジャー・ホスピタリティ部門がマレーシアを中心としたゲーム・カジノビジネスの堅調な推移により増収増益に寄与したことに加え、米ドル建て借り入れがマレーシア・リンギット通貨高/米ドル安に伴う為替換算利益につながったことも増益幅を拡大した。為替換算差損益の影響を除けば、調整後 EBITDA は同 13%増だった。前四半期比では売上高が 12.5%増、調整後 EBITDA が 39.7%増だった。

2Q のセグメント別の調整後 EBITDA は以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門のマレーシアは前年同期比 17%増の 6.06 億 MYR。②同部門の英国・エジプトが 26%増の 0.70 億 MYR。ストラトフォード・カジノの買収も業績拡大に寄与した。③同部門の米国・バハマが同 1%減の 1.18 億 MYR。④不動産部門および投資・その他部門（為替換算損益含む）は同 5.3 倍の 2.34 億 MYR だった。

#### How do we view this?

マレーシア部門では、2Q の間にイスラム教徒のお祭りとして、ラマダン月（断食月）の終わりを祝う「ハラリヤ・プアサ」に加え、犠牲祭の「ハラリヤ・ハジ」が重なったことが業績を押し上げた要因になった。また、テーマパークやカジノなどがあり、子どもから大人まで楽しめる高原リゾートの「ゲンティン・ハイランド」のインフラや新しいアトラクションへの投資を強化している。マレーシアのマクロ経済面では、2月から最低賃金の月額で約 13%引き上げられたプラス面的一方、7 月以降にマレーシア半島部の基本電気料金が約 14%引き上げられたこと、および売上サービス税（SST）の課税対象が拡大されたことはレジャー消費にマイナスとなる懸念が残る。

英国・エジプト部門では、英国でカジノに配置する機械の数を増やす規制の緩和が 7/22 に実施されたことの影響が見込まれる。

米国・バハマでは 6 月にニューヨーク拠点の傘下企業エンパイア・リゾートを完全子会社化した効果が業績に表れ始めている。さらにニューヨークの当局による 3 箇所のカジノ施設の入札応募に対 12/1 までにライセンスに関する決定が行われると見込まれており、動向が注目される。

#### 業績推移

※参考レート 1MYR=35.008円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高 (百万MYR)	8,467	10,057	10,792	11,336	12,039
朝利益 (百万MYR)	-520	437	251	531	608
EPS (MYR)	-0.09	0.08	0.04	0.11	0.11
PER (倍)	-	29.33	62.13	18.91	18.91
BPS (MYR)	2.23	2.26	2.10	2.12	2.14
PBR (倍)	1.10	1.04	1.18	0.98	0.97
配当 (MYR)	0.15	0.15	0.15	0.09	0.09
配当利回り (%)	6.10	6.39	6.04	4.28	4.38

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) **0.09** (予想はBloomberg)

終値 (MYR) **2.08** 2025/9/8

#### 会社概要

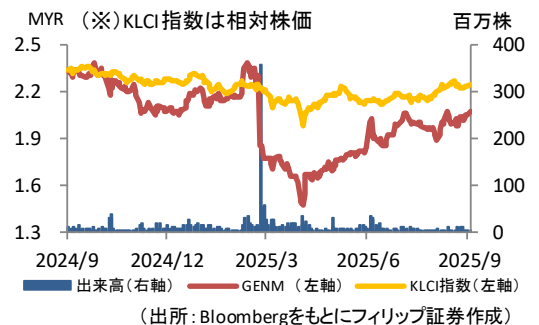
1980年設立。マレーシア資本財閥のゲンティングループの企業で、統合型リゾート(IR)を世界的に展開している。

主力のレジャー・ホスピタリティ部門は、以下の通り。  
 ①マレーシア事業は、マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)」を擁する。  
 ②英国・エジプト事業は、英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンや郊外でカジノを運営するほか、オンライン・カジノ事業を展開。  
 ③米国・バハマ事業は、ニューヨークの「リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨーク・シティ(RWNYC)」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」を運営する。

その他にも、不動産部門や投資・その他部門を運営している。

#### 企業データ (2025/9/9)

ベータ値	0.84
時価総額 (百万MYR)	11,789
企業価値=EV (百万MYR)	21,634
3か月平均日次売代金 (百万MYR)	14.5



#### 主要株主 (2025/9)

	(%)
1.ゲンティン	49.33
2.VANGUARD GROUP	1.76
3.AIA BHD	1.31

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。